

慶応二年七月二十八日より慶応二年八月二日まで

P8310612 right

より石川(善)の義、頼み越、鮎並霜糖折詰を贈り越す、

廿八日 申 晴

河田(相州) 来り、面す、柳亭稽古に来る、出 殿、墨陀邸より野菜類少許さし越す、柳斎へ洋酒

一瓶を与う、吉岡(良)此の程の謝として来り面す、

廿九日 酉 晴

第十時河内守殿御宅をいて蘭公使並御雇医御逢有之、玄蕃殿御列座、右へ出席夫より出

殿

晦日 戌 晴雲

出 殿、正革稽古に来りし旨、内山より洋酒謝として蒸菓子少許贈り越す旨、

P8310612 left

八月

朔日 亥 雨

殿中白帷子半袴、第十時過長応寺に行き、白義耳(*)(使節に引合新約書調印の義

談判有之兼て蘭公使にも引合う、浜御庭□見は両可延しの積り也、第十二時相済第二時

帰宅雨に付、往返駕を用う、須崎より婚賀の赤飯次分迄、贈り来る

二日 子 雨漸晴

出 殿此の白義耳使節引合趣周防守殿へ建白、江連(加州)頼みより中小姓権四郎を□

*1:白義耳はベルギー

(内は細字双行)一行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。